

# 海洋教育パイオニアスクールプログラム 成果報告書 1：海洋教育のデザイン

1. 学校名 和歌山県東牟婁郡串本町立 橋杭小学校

2. 活動テーマ名 たていわタイム (海洋教育)

3. 実践の概要・ねらい

本校は、海に面した立地条件を生かし、「ふるさと学習」として海水浴場の清掃活動や、生活科・総合的な学習の時間の一部を活用した砂浜での造形遊び、磯の生き物観察、海の生き物調べなどを行ってきたが、平成 23 年に発生した東日本大震災を機に、津波に対する学習や避難訓練等「防災」を中心とした取組に重きを置かざるを得ない状況にあった。

しかし、海を恐れるだけではこの地で生きてはいけない。防災についての正しい知識を身に付け、近い将来発生が予想される大地震に対して備えることは勿論必要であるが、海とともにより良く暮らしていくことこそがこの地で生きる者にとって最重要課題である。

そこで、「たていわタイム (海洋教育)」を創設し、これまでの学習を整理し、体系的な学びのカリキュラムとして再編成することにより、郷土を愛し、守ろうとする態度をより一層高めていきたいと考える。

4. 実践計画

①テーマ・概要・活動計画・教科等との関連

◎学年別目標

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。  
(海に親しみ、海を知る)
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。(海を利用し、海を守る)
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。(海から身を守る)

◎学年別指導内容 (【】：教科との関連)

	「海とともに生きる」				「防災」
	環境 (海に親しみ、海を知る)		文化 (海を利用し、海を守る)		(海から身を守る)
	橋杭岩・橋杭の浜	串本海域	歴史・文化・国際	産業	防災
1年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜をきれいにしよう</li> <li>・橋杭岩の生き物を知ろう (磯遊び) 【生活】</li> <li>・海を描こう 【図工】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海中公園に行こう 【生活】</li> <li>・貝拾いに行こう</li> <li>・貝を使って作ろう 【図工】</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしよう (避難路の確認)</li> <li>・津波の怖さを知ろう</li> </ul>

2年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜をきれいにしよう</li> <li>・橋杭岩の生き物を知ろう(磯遊び) 【生活】</li> <li>・海を描こう 【図工】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海中公園に行こう【生活】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・橋杭岩を知ろう(串本紙芝居の会)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヒロメについて調べよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしよう(津波について知ろう)</li> <li>・校区の避難経路を確認しよう</li> </ul>
3年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜をきれいにしよう</li> <li>・海を描こう 【図工】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・串本海中公園に行つて串本の海の生き物を知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理を作ってみよう</li> <li>・橋杭岩を知ろう(串本紙芝居の会)</li> <li>・トルコ記念館に行こう 【社会】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・串本町の魚について調べよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしよう</li> <li>・避難経路までの危険を想定しよう</li> </ul>
4年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜をきれいにしよう</li> <li>・磯の生き物を詳しく観察しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・海の危ない生き物を知ろう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郷土料理を作ってみよう</li> <li>・トルコについて調べよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・串本町の魚について調べよう(水産試験場) 【社会】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしよう</li> <li>・防災学習(津波に備えよう)</li> <li>・和歌山県の偉人について知ろう(濱口梧陵) 【社会】</li> </ul>
5年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜をきれいにしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラムサール条約について調べよう</li> <li>・町内でとれる化石について調べよう 【理科】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ひじきを使った郷土料理を作ってみよう 【家庭】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・串本町の水産業について調べよう【社会】</li> <li>・魚や貝の名前を調べよう</li> <li>・森林と海のつながりについて調べよう 【社会】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしよう</li> <li>・濱口梧陵について詳しく知ろう</li> <li>・防災学習</li> </ul>
6年生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・砂浜をきれいにしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ラムサール条約について調べよう</li> <li>・串本町内の地層を見学しよう【理科】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エルトゥールル号について調べよう</li> <li>・ひじきを使った郷土料理を作ってみよう 【家庭】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・串本町の水産業について調べよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練をしよう</li> <li>・稲むらの火の館、広村の堤防を見学しよう</li> <li>・液状化現象を知ろう【理科】</li> </ul>

## ②実践の評価について

### ・自己評価

学期ごとに教職員により他の活動等とともに反省・評価を実施。年度末には次年度に向けて全教職員により反省・評価を行う。

### ・学校運営協議会による評価

本校は平成29年度よりコミュニティスクールとなったため、学校運営協議会により海洋教育についても評価していただく。

### ・保護者による評価

年度末には保護者を対象として、本校教育についてアンケートを実施している。そこで海洋教育についても評価していただく。

### ・東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターによる評価・アドバイス

串本町教育委員会が海洋教育促進拠点となっているため、海洋教育促進研究センターに評価やアドバイスを受けたいと考えている。

## 5. 今年度の実践

### ①計画からの追加・変更点

- ・年間指導計画への追加：「海の教室」（1年生、2年生）

### ②実践の成果

#### ア 身近な海への興味・関心の高まり

すぐ近くに海があるという環境にありながら、本校では身近な海についてあまり関心のない児童が多かった。海洋教育に取り組むことにより児童の海への関心が高まり、授業以外の場面でも、潮の満ち干や校舎近くを飛ぶ海鳥に興味を持つ等様々な気づきがあるようになった。

#### イ 地域への愛着を育む

地域の海で採られ、食されてきた海藻を地域の方と一緒に採って、調理して食べたり、磯の生き物と触れ合ったりというような体験的な学習を通して海について知ることにより、地域のよさを発見するとともにふるさとを愛する心を育てることができている。

#### ウ 防災教育の充実

授業時間中や休憩時間中、地域の方々との避難訓練等様々な想定での避難訓練や、津波の仕組みや液状化現象の実験等の防災教育により、自分の命は自分で守ろうとする意識を高めることができた。

### ③次年度への課題

- ・海洋教育に取り組み始めて今年度で3年となる。年度を重ねるごとに内容や系統性を精査してきたが、今後更に検討し、よりよいカリキュラムを作り上げていきたい。
- ・本学習活動は体験による学習が多いが、「体験あって学びなし」とならないように、その活動は児童にどのような力をつけるために行うのかを明確にし、取り組んでいかなければならない。
- ・学習した内容や調べたことをそのまとめとして児童がどう情報発信していくか。今までは掲示物として表したり、リーフレットにしたりしてきたが、今後より積極的に情報を発信する活動を取り入れていきたい。

## 6. 主な連携機関及び内容

- ・串本海中公園：串本の海にいる生き物の観察
- ・和歌山県水産試験場：串本の魚類の学習、養殖について見学
- ・太地町立くじらの博物館：館内見学と鯨類について学芸員の説明を聞く
- ・稲むらの火の館：濱口梧陵記念館・津波防災教育センター見学
- ・串本町食育推進委員会：魚を使った料理の指導をしていただく
- ・串本紙芝居の会：橋杭岩に関する紙芝居の鑑賞

◇ 1年生 ◇

【実践のねらい】

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。(海に親しみ、海を知る)
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。(海を利用し、海を守る)
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。(海から身を守る)

○時数 4月～3月 35時間

○関連 生活科、図画工作

- 目標
- (1) 海に親しみ、海を知る：橋杭岩や橋杭海岸へ行き、海と親しみながら、身近に豊かな自然があることに気付く。砂浜で造形遊びや海の絵を描くことで、海に親しむ。
  - (2) 海を利用し、海を守る：橋杭海岸をきれいにすることで、気持ちの良い海開きができることに気付く。地域の海洋施設を利用することで、串本海域の生き物を知る。
  - (3) 海から身を守る：地震・津波について知り、地震から身を守る方法や、避難の必要性を知る。校区の避難経路を実際に見学し、避難する場所について知る。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境 (海に親しみ、海を知る)	<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;">                     砂浜をきれいにしよう (2)                      橋杭岩の生き物を知ろう (7)                      海を描こう (3)                      海中公園に行こう (串本海中公園)                      (3)                 </div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 10px;">→</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 45%;">                     海の教室に行こう(くじらの博物館)(6)                      貝拾いに行こう (4)                      貝を使って作ろう (4)                 </div> </div>											
文化 (海を利用し、海を守る)												
防災 (海から身を守る)												
	避難訓練をしよう (避難路の確認をしよう) (4)						津波のこわさを知ろう (2)					

◇ 2年生 ◇

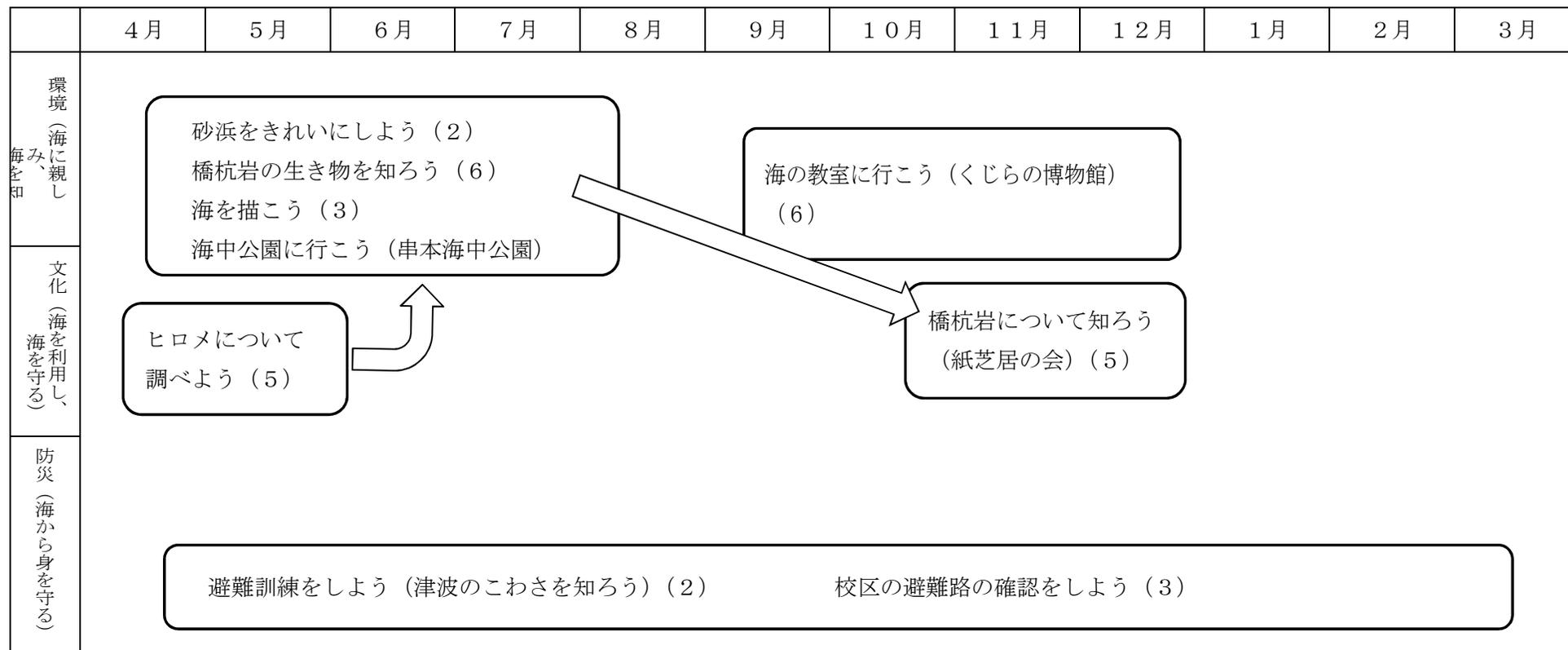
【実践のねらい】

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。（海に親しみ、海を知る）
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。（海を利用し、海を守る）
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。（海から身を守る）

○時数 4月～3月 35時間

○関連 生活科、図画工作

- 目標
- （1）海に親しみ、海を知る：橋杭岩や橋杭海岸へ行き、海と親しみながら、身近に豊かな自然があることに気付く。砂浜で造形遊びや海の絵を描くことで、海に親しむ。
  - （2）海を利用し、海を守る：橋杭海岸をきれいにすることで、気持ちの良い海開きができることに気付く。地域の海洋施設を利用することで、串本海域の生き物を知る。
  - （3）海から身を守る：地震・津波について知り、地震から身を守る方法や、避難の必要性を知る。校区の避難経路を実際に見学し、避難する場所について知る。



◇ 3年生 ◇

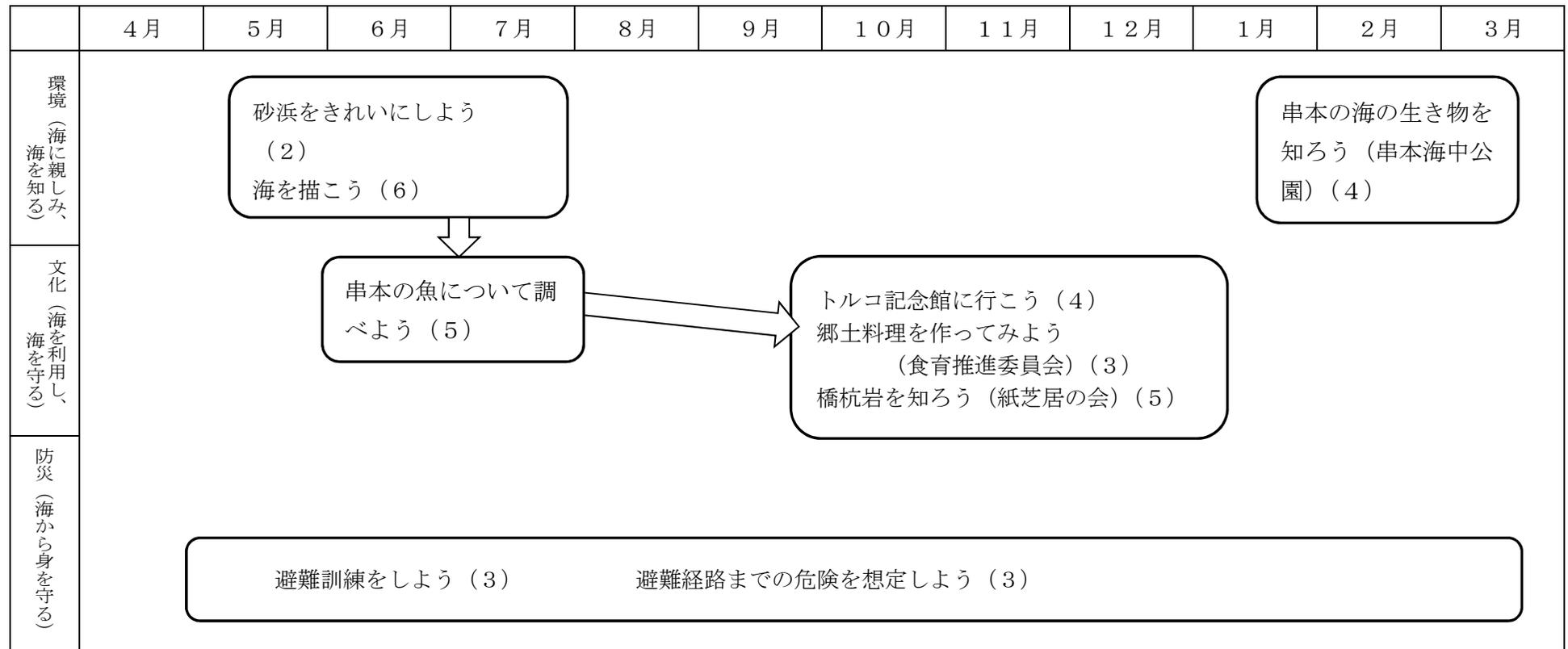
【実践のねらい】

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。（海に親しみ、海を知る）
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。（海を利用し、海を守る）
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。（海から身を守る）

○時数 4月～3月 35時間

○関連 理科、社会科

- 目標
- (1) 海に親しみ、海を知る：橋杭岩での生き物を観察したり地域の人の話を聞いたりすることで、多様な生き物が生息していることを知る。紙芝居を見たり海に関わる昔話を調べたりすることで、昔の人の生活は海と切っても切り離せない関係だったことに気付く。
  - (2) 海を利用し、海を守る：橋杭海岸をきれいにするので、なぜ海が汚れるのかといった原因を考え、それを減らす方法を考える。串本の郷土料理を作り、作り方を学ぶ。串本の漁業関係施設を見学し、どのような仕事をしているか知る。
  - (3) 海から身を守る：避難経路での危険を想定し、回避する方法を考えることができる。和歌山の偉人濱口梧陵が行ったことについて調べる。津波避難三原則について学び、それに沿って行動できる。



◇ 4年生 ◇

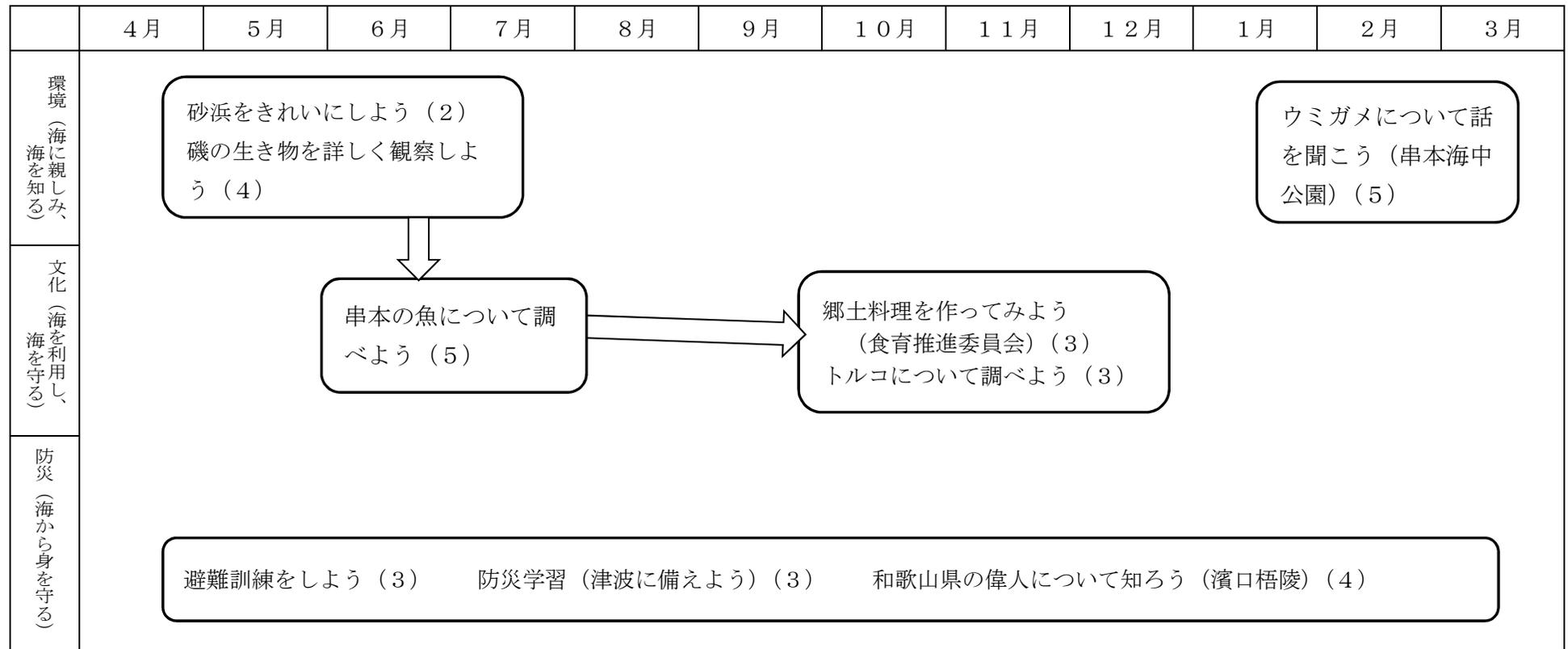
【実践のねらい】

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。(海に親しみ、海を知る)
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。(海を利用し、海を守る)
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。(海から身を守る)

○時数 4月～3月 35時間

○関連 理科、社会科

- 目標
- (1) 海に親しみ、海を知る：橋杭岩での生き物を観察したり地域の人の話を聞いたりすることで、多様な生き物が生息していることを知る。紙芝居を見たり海に関わる昔話を調べたりすることで、昔の人の生活は海と切っても切り離せない関係だったことに気付く。
  - (2) 海を利用し、海を守る：橋杭海岸をきれいにするこで、なぜ海が汚れるのかといった原因を考え、それを減らす方法を考える。串本の郷土料理を作り、作り方を学ぶ。串本の漁業関係施設を見学し、どのような仕事をしているか知る。
  - (3) 海から身を守る：避難経路での危険を想定し、回避する方法を考えることができる。和歌山の偉人濱口梧陵が行ったことについて調べる。津波避難三原則について学び、それに沿って行動できる。



◇ 5年生 ◇

【実践のねらい】

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。（海に親しみ、海を知る）
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。（海を利用し、海を守る）
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。（海から身を守る）

○時数 4月～3月 35時間

○関連 理科、社会科

- 目標
- （1）海に親しみ、海を知る：串本沿岸は、ラムサール条約湿地に登録されていることを学ぶ。串本町で産出する化石を観察または発掘し、地域の専門家の話を聞いて太古の環境について学ぶ。串本には日本ジオパークに登録されている場所があることを見学し、学ぶ。
  - （2）海を利用し、海を守る：串本の海は、生物多様性に富んだ豊かな海であり、それを後世に残そうとする気持ちをもつ。串本の郷土料理を作り、次の世代へ伝えようという気持ちをもつ。地域の漁業関係施設を見学し、串本の水産業について学ぶことで、串本の自然環境や漁業の直面する課題について考える。
  - （3）海から身を守る：地震時に起こる大地の変化について学ぶ。「稲村の火の館」と濱口梧陵が築いた堤防を見学し、それに関わった人達の思いや願いを考える。串本町に被害を与えた南海大地震について調べ、それは周期的に発生していることを知る。様々な生活場面で遭遇した場合を想定し、主体的な避難行動ができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
環境 （海に親し み、海を知る）	砂浜をきれいにしよう （2）							町内でとれる化石につ いて調べよう（3）		ラムサール条約につい て調べよう（3）		
文化 （海を利用 し、海を守る）	串本町の水産業について調べよう（8） 魚や貝の名前を調べよう （県水産試験場）（2） 森林と海のつながりについて調べよう （3）					ヒジキを使った郷土料 理を作ってみよう （6）						
防災 （海から身を守 る）	避難訓練をしよう（2）			防災学習（3）			濱口梧陵について詳しく知ろう（3）					

◇ 6年生 ◇

【実践のねらい】

- ・身近な海について体験活動を通して学び、主体的に関わることができる児童を育成する。(海に親しみ、海を知る)
- ・先人達の歩んだ歴史や残した文化を学び、串本町の自然や資源を私達の生活と関連付けて考えるとともに、海洋環境の保全について自分の考えをもち、海洋と人類の共生に貢献できる児童を育成する。(海を利用し、海を守る)
- ・地震が引き起こす大きな揺れや津波から身を守るため、状況に応じて主体的に判断し、適切な避難行動をとることができる児童を育成する。(海から身を守る)

○時数 4月～3月 35時間

○関連 理科、社会科

- 目標
- (1) 海に親しみ、海を知る：串本沿岸は、ラムサール条約湿地に登録されていることを学ぶ。串本町で産出する化石を観察または発掘し、地域の専門家の話を聞いて太古の環境について学ぶ。串本には日本ジオパークに登録されている場所があることを見学し、学ぶ。
  - (2) 海を利用し、海を守る：串本の海は、生物多様性に富んだ豊かな海であり、それを後世に残そうとする気持ちをもつ。串本の郷土料理を作り、次の世代へ伝えようという気持ちをもつ。地域の漁業関係施設を見学し、串本の水産業について学ぶことで、串本の自然環境や漁業の直面する課題について考える。
  - (3) 海から身を守る：地震時に起こる大地の変化について学ぶ。「稲村の火の館」と濱口梧蔭が築いた堤防を見学し、それに関わった人達の思いや願いを考える。串本町に被害を与えた南海大地震について調べ、それは周期的に発生していることを知る。様々な生活場面で遭遇した場合を想定し、主体的な避難行動ができる。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
環境 (海に親しみ、海を知る)	砂浜をきれいにしよう (2)			町内でとれる化石について調べよう (3) 串本町内の地層を見学しよう (4)					ラムサール条約について調べよう (3)				
文化 (海を利用し、海を守る)	串本町の水産業について調べよう (5)					ヒジキを使った郷土料理を作ってみよう (6) エルトゥールル号について調べよう (2)							
防災 (海から身を守る)	避難訓練をしよう (2) 「稲むらの火の館」「広村の堤防」を見学しよう (6) 液状化現象を知ろう (2)												